

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
 詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2019年9月13日、株式会社スリー・ディー・マトリックスは、2020年4月期第1四半期決算を発表した。

| 四半期累計 (百万円) | 19年4月期 | | | | 20年4月期 | | | | 20年4月期 | |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|------|------|------|--------|---------------|
| | 1Q | 1-2Q | 1-3Q | 1-4Q | 1Q | 1-2Q | 1-3Q | 1-4Q | (進捗率) | 通期会予 |
| 事業収益 | 52 | 120 | 194 | 329 | 142 | | | | - | 882~1,432 |
| 前年比 | -20.8% | 14.1% | 16.0% | 43.8% | 170.1% | | | | | 168.2~335.5% |
| 売上高 | 52 | 120 | 194 | 329 | 142 | | | | | |
| 前年比 | -20.8% | 14.1% | 16.0% | 43.8% | 170.1% | | | | | |
| 研究開発事業収益 | - | - | - | - | - | | | | | |
| 前年比 | - | - | - | - | - | | | | | |
| 事業費用 | 622 | 1,223 | 1,831 | 2,596 | 789 | | | | | |
| 前年比 | 29.1% | 26.3% | 20.4% | 23.4% | 26.7% | | | | | |
| 売上原価 | 43 | 103 | 194 | 312 | 111 | | | | | |
| 前年比 | -24.5% | 26.5% | 53.8% | 76.1% | 161.4% | | | | | |
| 原価率 | 81.1% | 85.4% | 100.1% | 94.9% | 78.5% | | | | | |
| 研究開発費 | 198 | 408 | 572 | 786 | 182 | | | | | |
| 前年比 | 72.4% | 58.6% | 47.8% | 39.8% | -7.8% | | | | | |
| 販管費 | 382 | 713 | 1,065 | 1,498 | 495 | | | | | |
| 前年比 | 22.9% | 13.1% | 5.7% | 9.8% | 29.5% | | | | | |
| 営業利益 | -570 | -1,103 | -1,637 | -2,267 | -647 | | | | - | -1,866~-1,316 |
| 前年比 | - | - | - | - | - | | | | | - |
| 営業利益率 | - | - | - | - | - | | | | | - |
| 経常利益 | -605 | -1,161 | -1,793 | -2,426 | -794 | | | | - | -1,866~-1,316 |
| 前年比 | - | - | - | - | - | | | | | - |
| 経常利益率 | - | - | - | - | - | | | | | - |
| 四半期純利益 | -626 | -1,230 | -1,896 | -2,555 | -839 | | | | - | -1,896~-1,346 |
| 前年比 | - | - | - | - | - | | | | | - |
| 四半期利益率 | - | - | - | - | - | | | | | - |

| 四半期 (百万円) | 19年4月期 | | | | 20年4月期 | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|----|----|----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| 事業収益 | 52 | 68 | 74 | 135 | 142 | | | |
| 前年比 | -20.8% | 73.6% | 19.2% | 119.6% | 170.1% | | | |
| 売上高 | 52 | 68 | 74 | 135 | 142 | | | |
| 前年比 | -20.8% | 73.6% | 19.2% | 119.6% | 170.1% | | | |
| 研究開発事業収益 | - | - | - | - | - | | | |
| 前年比 | - | - | - | - | - | | | |
| 事業費用 | 622 | 601 | 608 | 765 | 789 | | | |
| 前年比 | 29.1% | 23.5% | 10.1% | 31.4% | 26.7% | | | |
| 売上原価 | 43 | 60 | 92 | 118 | 111 | | | |
| 前年比 | -24.5% | 143.0% | 102.8% | 131.4% | 161.4% | | | |
| 原価率 | 81.1% | 88.7% | 124.0% | 87.5% | 78.5% | | | |
| 研究開発費 | 198 | 210 | 164 | 214 | 182 | | | |
| 前年比 | 72.4% | 47.4% | 26.6% | 22.1% | -7.8% | | | |
| 販管費 | 382 | 331 | 352 | 433 | 495 | | | |
| 前年比 | 22.9% | 3.6% | -6.8% | 21.6% | 29.5% | | | |
| 営業利益 | -570 | -533 | -534 | -630 | -647 | | | |
| 前年比 | - | - | - | - | - | | | |
| 営業利益率 | - | - | - | - | - | | | |
| 経常利益 | -605 | -556 | -632 | -633 | -794 | | | |
| 前年比 | - | - | - | - | - | | | |
| 経常利益率 | - | - | - | - | - | | | |
| 四半期純利益 | -626 | -605 | -666 | -659 | -839 | | | |
| 前年比 | - | - | - | - | - | | | |
| 四半期利益率 | - | - | - | - | - | | | |

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

**会社予想は直近の数値

事業収益の内訳

| 四半期累計 (百万円) | 19年4月期 | | | | 20年4月期 | | | |
|----------------|--------|--------|-------|-------|--------|------|------|------|
| | 1Q | 1-2Q | 1-3Q | 1-4Q | 1Q | 1-2Q | 1-3Q | 1-4Q |
| 事業収益 | 52 | 120 | 194 | 329 | 142 | | | |
| 前年比 | -20.8% | 14.1% | 16.0% | 43.8% | 170.1% | | | |
| 売上高 | 52 | 120 | 194 | 329 | 142 | | | |
| 前年比 | -20.8% | 14.1% | 16.0% | 43.8% | 170.1% | | | |
| 欧州 | 37 | 74 | 123 | 192 | 68 | | | |
| 前年比 | 36.0% | 30.7% | 18.4% | 25.5% | 81.3% | | | |
| アジア、オセアニア | 14 | 41 | 67 | 127 | 72 | | | |
| 前年比 | -62.6% | -11.5% | 13.6% | 86.8% | 412.2% | | | |
| 研究開発事業収益 | - | - | - | - | - | | | |
| 前年比 | - | - | - | - | - | | | |

| 四半期 (百万円) | 19年4月期 | | | | 20年4月期 | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|----|----|----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| 事業収益 | 52 | 68 | 74 | 135 | 142 | | | |
| 前年比 | -20.8% | 73.6% | 19.2% | 119.6% | 170.1% | | | |
| 売上高 | 52 | 68 | 74 | 135 | 142 | | | |
| 前年比 | -20.8% | 73.6% | 19.2% | 119.6% | 170.1% | | | |
| 欧州 | 37 | 37 | 49 | 69 | 68 | | | |
| 前年比 | 36.0% | 25.7% | 3.7% | 40.6% | 81.3% | | | |
| アジア、オセアニア | 14 | 27 | 26 | 60 | 72 | | | |
| 前年比 | -62.6% | 210.8% | 109.1% | 540.9% | 412.2% | | | |
| 研究開発事業収益 | - | - | - | - | - | | | |
| 前年比 | - | - | - | - | - | | | |

出所：同社資料よりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

2020年4月期第1四半期実績

- ▷ 事業収益：142百万円（前年同期比170.1%増）
- ▷ 営業損失：647百万円（前年同期は営業損失570百万円）
- ▷ 経常損失：794百万円（前年同期は経常損失605百万円）
- ▷ 親会社株主に帰属する四半期純損失：839百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失626百万円）

事業収益に関して、欧州・アジアでの吸収性局所止血剤TDM-621の製品販売142百万円（欧州：68百万円、アジア・オセアニア：72百万円、中南米：2百万円）となった。費用面に関しては通期計画の範囲内で推移した。なお、営業損失と経常損失の差は主に為替差損136百万円による。経常損失と当期純損失の差は主に減損損失44百万円による。

国別の研究開発の状況および吸収性局所止血剤の地域別販売状況は以下の通りであった。

日本における研究開発の状況
吸収性局所止血材

日本国内においては、内視鏡的粘膜下層剥離術下の漏出性出血に対する止血効果等の有効性評価や安全性評価を含めた総合的判断を行うという治験計画を構築し、2017年4月に臨床試験を開始するための治験計画届を独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下、PMDA）に提出した。同治験は消化器内視鏡治療の領域において、同止血材の有効性を従来の止血法と比較する試験であり、2017年8月に開始し、2019年7月に終了した。今後、第2四半期（2019年8-10月）に製造販売承認申請を実施する見込みである。

粘膜隆起材

製品の優位性を高めるため、ペプチドに改良を加えた新たな配列で開発を進めた。開発方針につきPMDAと協議を実施した結果、性能と安全性が既存製品と同等であることを非臨床試験で検証できれば、臨床試験を必要としない改良医療機器としての申請が妥当との見解を得た。これを受け、同社は非臨床試験において必要な検証事項をクリアし、2020年4月期中に製造販売承認申請を実施する見込みである。

DDS (ドラッグ・デリバリー・システム)

国立がん研究センターとの「RPN2標的核酸医薬によるトリプルネガティブ乳がん治療」共同プロジェクトにおいて自己組織化ペプチドA6KをsiRNA核酸医薬のDDSとして提供していた。同社は国立がん研究センターと共同でがん幹細胞に対する治療薬や診断方法の特許を取得しており、同分野や関連分野の共同研究/共同開発に向けた取り組みを進めている。また広島大学とは悪性胸膜中皮腫を対象疾患とする革新的抗腫瘍核酸医薬に界面活性剤ペプチドを提供するなど共同開発を進め、岡山大学とはがん治療法・ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) の新たな薬剤開発に関する共同開発を進めている。

欧州における研究開発の状況

後出血予防材

内視鏡手術時に生じる後出血予防効果に関して、2018年12月に適応追加が承認された。

次世代止血材

次世代止血材は、MITからライセンス供与を受けた自己組織化ペプチド技術をベースに、吸収性局所止血材と異なる新規ペプチド配列を用いた開発品である。吸収性局所止血材より止血効果に優れ、ペプチド原材料価格のコスト低減等の優位性があることから、将来的に次世代止血材を主力製品として市場に供給すべく開発を進める。製造管理・品質管理基準であるGMP (Good Manufacturing Practice) に則ったコマーシャルスケールの製造方法は既に確立しており、最終製品を用いた前臨床試験を実施中である。早期に臨床試験に移行させるべく、臨床開発戦略の策定を進める。

米国における研究開発の状況

癒着防止材

2019年4月、耳鼻咽喉科領域において米国食品医薬品局 (FDA) より販売承認を受けた。同社の米国における初の上市製品である。癒着防止材は、現時点で癒着防止、止血、創傷治癒を同時に行える唯一の製品であることから、鼻甲介切除術や鼻中隔形成術などにおいて高い臨床的価値を提供可能であるとしている。

吸収性局所止血材

臨床開発戦略の策定中である。止血だけでなく、創傷治癒や癒着削減など高い付加価値がつけられる開発方針を模索するとしている。

歯槽骨再建材

米国での臨床試験で15症例の施術・経過観察が完了し骨形成に良好な結果やデータを得たが、プロトコルに改善の余地があったため、2018年4月期に臨床試験を12症例追加し継続中である。

創傷治癒材

2015年2月に米国FDAより承認を受け販売の許認可を取得した。他薬剤とのコンビネーション (抗生物質、抗がん剤等) も視野に入れ、重度の熱傷治療、皮膚がん治療の分野で研究を進めている。また、巨大市場である美容形成分野にも進出すべく、適応拡大を検討している。

オーストラリアにおける研究開発の状況

後出血予防材

オーストラリアにおいても後出血予防効果に関して、2019年9月に適応追加が承認された。術後に起こる後出血は、再手術が必要となることから、患者、医療機関双方の負担が大きく、ニーズがあるという。同社によれば、当該適用追加により、同社製品が内視鏡領域で獲得可能な市場は数倍に拡大する可能性があるとしている。

吸収性局所止血材、癒着防止材兼止血材の地域別販売状況

欧州での販売状況

欧州での製品販売は68百万円（前年同期比81.3%増）となり、過去最高の売上高となった。

消化器内視鏡領域に関しては2019年6月に同社欧州子会社とFUJIFILM Europe BV（以下、FUJIFILM）との間で欧州全域における吸収性局所止血材「PuraStat」の独占販売権契約を締結した。第3四半期以降（下期）に、FUJIFILMが有する顧客基盤に対して共同で売り込むことで、営業期間の短縮と顧客カバレッジの拡大を目指す。その他の領域である心臓血管外科領域や消化器外科領域については、引き続き候補先と契約締結に向け交渉を進める。また、中東や東欧でも販売体制の見直しを実施し、今後の売上高への寄与を見込む。

第2四半期以降も、ドイツ、英国を成長の柱としつつ、FUJIFILMとのパートナーシップを活かし成長を目指すとしている。

アジア、オセアニアでの販売状況

アジア、オセアニアでの製品販売は72百万円（前年同期比412.2%増）となり、過去最高の売上高となった。前期はオーストラリア西部が販売活動の中心であったが、人口の多いオーストラリア東部（Queensland地区等）での販売活動に注力したことにより医療機関の取り込みが進み、計画を上回る進捗となった。

現在の販売領域は主に耳鼻咽喉科だが、第2四半期以降は内視鏡や腹腔鏡手術などの新たな領域での販売も見込めるとしている。

米国での販売状況

米国では、2019年4月に耳鼻咽喉科領域の癒着防止材兼止血材「PuraSinus」の販売承認を受けた。米国内での同領域は約200億円の規模を有する市場であると想定される。同社によれば、同領域はオーストラリアにおいて既に成功を収めている分野であるため、オーストラリアの事例にならい、直販で販売を開始し早期に成果を挙げることを目指して販売体制の準備を進めるといふ。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp